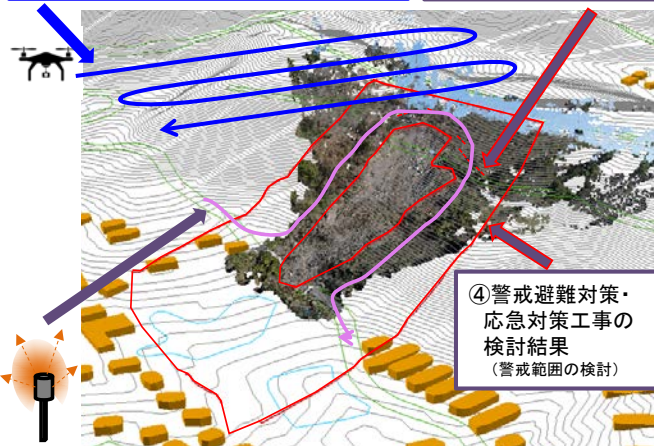


地すべり災害対応におけるCIMを活用したリモート技術指導の取組

- 土砂管理研究グループ地すべりチームは、**3次元地形モデル(CIMモデル)**を**バーチャル現場モデル**として**地すべり災害対応に活用**する方法をまとめ、令和2年5月に**技術資料(案)**として公表しました。なお、CIMの積極活用のため、本資料は国土交通省砂防部から地方整備局・都道府県に通知されています。
- 令和2年5月、地すべり災害に関する技術指導の要請を埼玉県から受け、**3次元地形モデルを「バーチャル現場」としてオンラインで共有**し、応急対策や復旧対策について**リモートでの技術指導**を実施しました。
- 3次元地形モデルを「バーチャル現場」として活用することで、**リモートでありながら現地状況を的確に把握できるため、効率的かつ迅速な技術支援**につながることが期待されます。今後も本技術の活用に努めるとともに、その結果を踏まえて技術資料(案)を改善していく予定です。

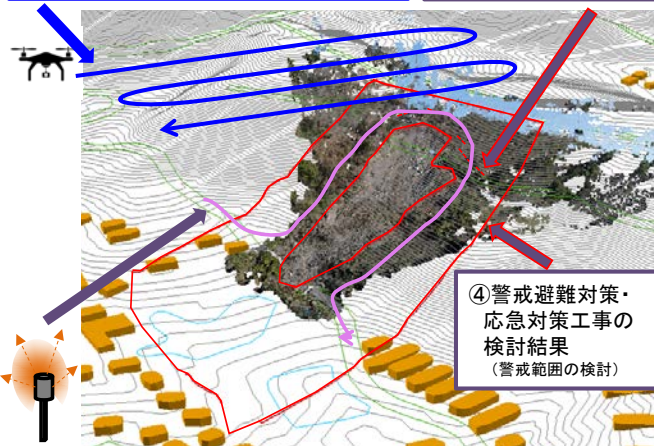
①地すべり全体の概略地形モデル作成
UAV写真撮影とSfM解析による
3Dカラー点群データ



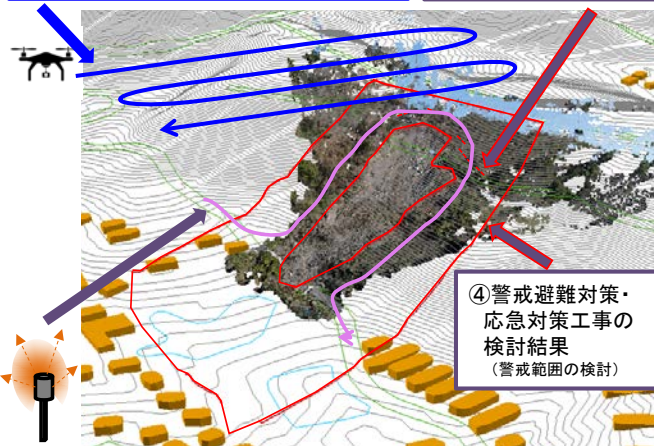
②変状発生域の部分的な詳細地形
モデル作成
レーザーキャナによる3Dカラー点群データ
(地上写真撮影とSfM解析)



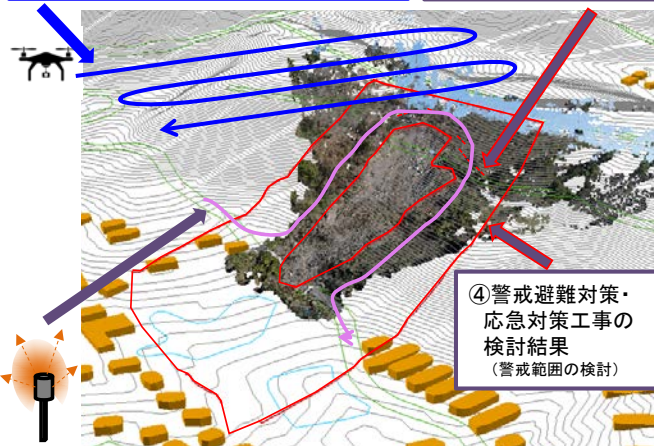
③緊急的な調査の結果
(地すべり範囲、亀裂位置)



④警戒避難対策・
応急対策工事の
検討結果
(警戒範囲の検討)



⑤基盤地図情報・
国土数値情報等
の公開データ
(5mDEM, 建築物)





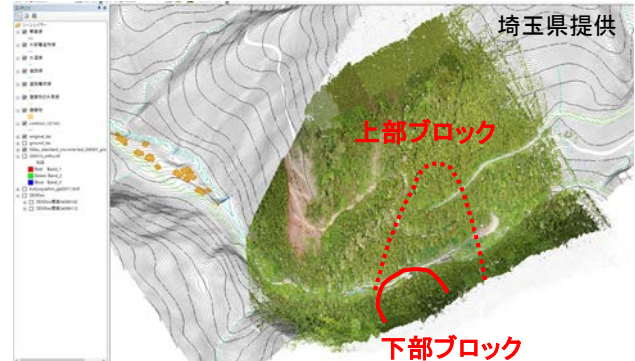
現地の状況
(護岸被災箇所)



護岸被災箇所の詳細な3次元地形モデル
(UAVで撮影した写真からSfMにより作成)



オンライン会議の様子
(埼玉県本庁、秩父県土整備事務所、土木研究所)



地すべり地全体の3次元地形モデル
(UAVのレーザ測量により作成)

地すべり災害対応のCIMモデルの
作成手法の概要

「地すべり災害対応のCIMモデルに
関する技術資料(案)」

